

だより

東名古屋病院

第87号

2022年4月発行

理念

私たちは、医の倫理を守り、患者さんの気持ちを尊重し、より質の高い医療を提供します。

基本方針

- ① 患者さんへの医療内容の説明と患者さんの同意を医療の基本とします。
- ② 地域に密着し、心の触れ合いを大切にした医療を提供します。
- ③ 常に自己研鑽に励み、医療人としての専門的知識・技術の習得に努め、皆様に信頼される安全で最新の医療を提供します。
- ④ 健全な経営を維持して療養環境の整備に努め、安心して快適に療養できる病院を目指します。



表紙の花「モクレン」

CONTENTS

巻頭言／転倒を予防して健康寿命を延ばしましょう

地域医療連携室だより／地域医療の一翼を担う東名古屋病院として

情報提供／健診外来について

教育担当からのお知らせ／コロナ禍での新人看護師の育成にあたり

学院紹介／リハビリテーション学院の紹介

病気とのつきあい方／ステロイド内服治療について

部門紹介／臨床検査技師のお仕事

トピックス／小川賢二先生が第25回秩父宮妃記念結核予防功労賞を受賞



リハビリテーション学院の紹介



臨床検査技師のお仕事



独立行政法人 国立病院機構
東名古屋病院
 NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION
 HIGASHI NAGOYA NATIONAL HOSPITAL

〒465-8620

名古屋市名東区梅森坂5-101

TEL 052-801-1151 FAX 052-801-1160

ホームページ <https://higashinagoya.hosp.go.jp/>





転倒を予防して 健康寿命を延ばしましょう



臨床研究部長 饗場 郁子

2022年1月発行の東名古屋病院だよりで院長の奥田先生が、転倒予防チームと再骨折予防チームについて紹介してくださいました。私は医師・歯科医師・看護師・理学療法士・薬剤師・管理栄養士から成る転倒予防チーム「チーム1010-4(てんとうぼうし)」で、2002年から転倒予防に取り組んでいます。



私の専門である脳神経内科の患者さんは「バランスが悪い」、「手足の力が弱い」などの症状のために転倒しやすい方が多く、転倒を予防する方法を患者さんやご家族に伝えるために、「転ばない生活講座」という実演付きの講座を開催したり、病棟や階段・トイレなどにポスターを掲示し、「気をつけてほしい人」に「気をつけてほしい場所」で「気をつけてほしいこと」を伝えています。また10年ほど前から転倒にまつわる川柳を募集し掲示する形で、転倒予防のエッセンスを伝える活動を始めました。転倒することは骨折などケガをしたり、また患者さんの転倒を発見したスタッフは自分を責めてしまったりと、マイナスなイメージがありますので、患者さん・ご家族も、また我々医療スタッフも笑顔で楽しく取り組めるようにとチームで考えたアイデアです。転倒予防川柳を掲示した病棟では掲示前に比べ、転倒を約30%減らすことができました。この取り組みは、院外からも評価をいただき、国立病院機構QC活動の東海北陸ブロック特別優秀賞や日本転倒予防医学研究会の転倒予防大賞を受賞し、また昨年はNHKラジオ深夜便でも取り上げていただきました。

実は転倒・転落による死亡は徐々に増え、不慮の事故死の中で交通事故死者数のなんと1.5倍となっています。「人は転ぶものである」これは五木寛之さんの言葉ですが、人は元々四つ足だった動物が二本の足で歩くように進化した生物ですので、どんな方でも「転ぶものだ」という前提で考えることが必要です。転んでケガをすると「まさか私が転ぶとは思わなかった」とおっしゃる方が多いのですが、転倒に対する無関心・無防備・過信は転倒のリスクになります。

もともと神経疾患の患者さんを対象に研究を始めたチーム1010-4ですが、現在は要介護者や一般の方へ向けてのメッセージの発信を病院ホームページ、Facebook、転倒予防川柳のメールマガジンなどで続けています。結成20周年を記念し、より多くの方々に転倒予防のエッセンスを知っていただきたいとの思いから、“東名古屋病院

team1010-4プレゼンツ「神経難病患者さんの転倒予防のコツ伝授」という14本の動画を多職種で作成し、東名古屋病院のYouTubeチャンネルにアップしました。一般の方々にも是非知っていただきたいノウハウが詰まっています。ひとつひとつの動画はほとんどが7-8分以内の短いものですので、隙間時間を使ってお役にいただけましたら幸いです。転倒に備え、笑顔で取り組むことは健康寿命を延ばすことにつながります。コロナ第6波で延期になりました次回の「東名セミナー」では、具体的な転倒予防のコツを伝授する予定です。どうぞお楽しみに!



YouTube動画公開の
お知らせページ



地域医療連携室だより

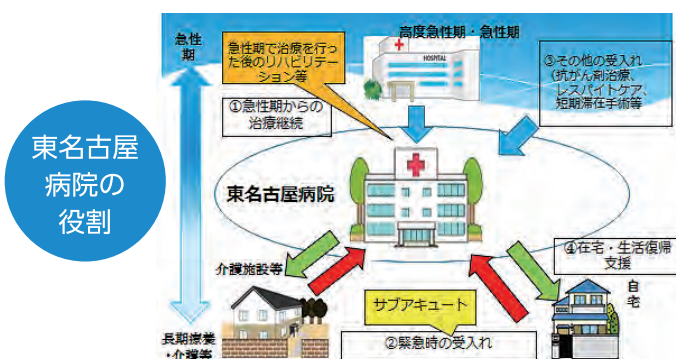
地域医療の一翼を担う東名古屋病院として

地域医療連携係長(看護師長) 吉田 久美

地域医療連携室は、地域医療連携室長(中川統括診療部長)を長とし、入退院調整、医療福祉相談、診療予約などの業務を行っております。当院は、神経難病を中心とする脳神経内科疾患、結核・非結核性抗酸菌症などの呼吸器疾患、重症心身障害児(者)医療・福祉の政策医療と、急性期病院で治療を終え、回復期にある脳卒中や骨折、呼吸器疾患などの患者さんが機能回復や維持のためのリハビリテーションを行っております。

結核は愛知県最終拠点病院として、神経難病は愛知県難病医療ネットワーク協力病院として、愛知県全域さらには周辺自治体までを診療圏とし、パーキンソン病や進行性核上性麻痺などの難病患者さんの入院診療も行っています。当院のリハビリテーション部は70名を超えるスタッフを擁しており、神経難病の患者さんを対象としたロボットスーツ(HAL)の導入など最先端のリハビリも実践しております。

コロナ禍のため、面会が自由にできない中、急性期病院から当院への転院はとても不安が多いと推測いたします。転院時にご家族が「母と久しぶりに会うことができた」「今日、ゆっくり顔を見て、声を掛けただけで想像していた様子と違った」などの声を聴くことがあります。そこで、不安を少しでも軽減するよう転院時には主治医から丁寧な説明を行い、また退院調整看護師は気持ちに寄り添った声掛けに努めています。近年、家族構造の変化から、高齢者世帯や高齢者単身世帯が抱える家族問題や介護力不足、経済的問題など多岐に渡ります。そこで、私たちは入院が決定した患者さんに対しては、入院前の段階から



入院生活を円滑に過ごすことができるように、そして入院中の患者さんに対しては、退院後の生活に対する思いをうかがい支援に努めております。このように患者さんが抱える不安に対し真摯に対応しながら、地域医療の一翼を担う東名古屋病院として取り組んでまいります。



健診外来について

小児科医長 武藤 亜紀子

健診外来を担当しています。

健康診断といっても、就職のため、留学のため、あるいは海外渡航時に必要なビザ申請のため等、様々な健康診断があります。私たちはできる限り当院で受けていただけるように対応しています。既存の書式を持参していただけるのがありがたいですがない場合やわからない場合はご相談ください。ビザ申請のために健康診断が必要な場合、渡航先により当院のような国立病院での検査が指定されていることもあります。ぜひお問い合わせください。現時点では中国、台湾、タイ、ベトナム、ロシアが渡航先の場合、問題なく対応できています。

渡航に必要なワクチン接種に関しましては、入手するのに時間がかかる、輸入ワクチンには対応していないなどの理由から名東区の”オーキッドファミリークリニック”を紹介させていただいています。アメリカなどの留学の場合、ワクチン接種も併せて要求されることが多い

ので一度確認していただくと間違いがないです。しかし、65歳以上の肺炎球菌ワクチンや带状疱疹ワクチンに関しては接種可能です。



金曜日の14時から15時の時間に限られますが、”かかりつけ医がいないから”と悩んでいる方が時々いらっしゃいます。東名古屋病院には受診したことがないけど、という方もお気軽に予約してください。

また、今年度から航空身体検査の認定施設となりましたので、航空操縦士の方や航空操縦学科への受験を考えている方の検査を受けています。現時点では人数や日時が限られていますが、ご希望であればこちらもお問い合わせください。昨年度にJAXA(宇宙航空開発機構)が宇宙飛行士の募集を開始したこともあり、申請のためのお問い合わせもいただき、数名の方のお手伝いできました。



スタッフも聞きなれない外国の行き先に戸惑いながらも丁寧に対応してくれています。4月からはホームページでWeb予約ができるように準備もすすめています。コロナウィルスによって海外への往来は制限されていますが、徐々にその制限も緩和されつつあります。病気を診る外来ではありませんが、日常生活に必要とされる外来として今後も展開していきたいと思っております。

健診ウェブ予約ページ

<https://www.gakuin.tomei-nho.jp/res-top/>



コロナ禍での新人看護師の育成にあたり

教育担当看護師長 廣瀬 美由紀

新型コロナウイルス感染症蔓延は、今年で3年目となりました。これほど長く続くとは想像していませんでした。そして、人々の生活に多大な変化を及ぼし、それは看護師育成においても大きな影響を与えました。



今年度の新人看護師は、看護大学や看護専門学校にとって、とても重要である病院での実習を十分経験できないまま入職することになりました。実習は、講義で学んだ知識を実践に結びつける大切な授業の一環です。看護学生にとって、患者さんと触れ合うことで看護を学ばせて頂いています。それが十分経験できなかった今年度の新人看護師は、社会人としての緊張と看護の専門職業人としての責任の重さに不安を抱いていました。そのため入職当初、患者さんと会話することさえできませんでした。患者さんから辛い気持ちを伝えられた時に何もできない自分、看護ケアが上手くできないことに涙し、自分は看護師に向いていないのではないかと考え落ち込み、できない自分しか見えなくなっていました。

また、コロナ禍前であれば各部署から新人看護師を集めた対面での研修を行い、同期の看護師と直接会話し、知識や技術、そして看護観を深める機会を多く持つことができました。しかし感染拡大に伴い、入院患者さんや職員同士の感染を防止するため、急遽リモート研修へ変更したり、各部署に出向いて対応するなど研修を主催する側も色々苦戦しました。指導する側のスタッフも悩みながらも試行錯誤し、病棟全体で新人看護師を支え合うことができました。そのような中、新人看護師が患者さんから言われた

「ありがとう」の一言がとても嬉しくて、私にとびっきりの笑顔で報告をしてくださいました。「看護師として働いて良かった」と実感し、これまでの不安や緊張の中でも頑張ったご褒美に感じたのだと思います。この1年新人看護師は、患者さんに寄り添い患者さんの声を傾聴し信頼関係をつくることや、医療チームで患者さんを支援する大切さ、自分自身の看護を振り返ることができていました。教育担当看護師長として、ここまで「考える看護師」に成長したことをとても嬉しく思いました。



私は、患者さんとの出会いや看護ケアなどで関わらせて頂いた時間が、看護師の成長に繋がっていると思います。新人看護師も今年の4月からは2年目の先輩看護師となります。患者さんとの出会いに感謝し、この1年の頑張りと学びを次のステップに繋げてほしいと思います。教育担当看護師長として、新人看護師の不安の軽減に努め、配属された部署の看護師長や副看護師長と連携し、看護部理念である「患者さんを尊重し、安心して療養していただける質の高い看護」を提供できる人材を育てていきます。



リハビリテーション学院の紹介



理学療法学科教育主事 中川 誠

今回は、リハビリテーション学院の特色と昨年
以来のコロナ禍での授業の状況をお話しします。
まず、四年制大学や他の養成校にない学院の特色
として以下の3つを挙げてみました。

学習環境。東海北陸地区でも母体病院を持ちさ
らに同敷地内に学校がある養成校は数校しかなく、
通学の途中で職員や患者様等と挨拶を交わす
ことや病院をまじかに感じ取れるこの環境は、医療
専門職の養成にとって欠かせない役割を果たして
います。また、東名古屋病院附属の養成校である
ため、臨床との連携が強く1年次より学院長(病院
長)、看護部長、事務長(事務部長)、薬剤科長を
はじめ多くの職員方の講義、各部門・病棟見学が
あります。2年次には専門基礎科目として神経学、
整形外科学、呼吸器学などでは、専門の医師が講
義にあたることも大きなメリットです。また、実習で
は国立病院機構の繋がりを活かし、東名古屋病院
をはじめ東海北陸グループ18の病院、さらに全国
では岩手県から鹿児島県の施設にお世話になって
います。

次に国家試験合格率。国家試験の合格率は全
国トップクラスで、開学以来の平均では、理学療法
学科で98.7%、作業療法学科で95.7%となってい
ます。

少人数制。四年制大学等では、定員が80名以上
の養成校もあるなかで、学院は、各学科20名です。
このため、きめ細かい教育指導と、授業時間外での
口頭試問やセミナー、学年間を超えた取り組みな
どがあります。私も8年ぶりに教員として異動して
きましたが、この授業以外の取り組みが、伝統に培
われてきたものと実感しています。

後半は、新型コロナウイルス感染症の影響です。
昨年以來、新型コロナウイルス感染症は、授業形
態や学生の対応に大きく影響しました。2020年4
月16日に47都道府県に緊急事態宣言が発出さ
れ、学院でも臨時休業、分散登校を経て6月より対
面授業を再開しました。国立病院機構本部も4月に
養成校にWeb会議システム導入、東名古屋病院
は看護宿舎を学生寮として開放(現在、さつき寮)、
国立病院機構等での実習継続など、様々なご支援
をいただきながら継続できていることに感謝申し
上げます。国立病院機構のチームであること、東名
古屋病院の附属であること、少人数制であること
など学院の特徴が全てにおいてよい方向に後押し
してくれたこととなります。医療専門職を養成する
には、対面での授業、学生・先輩後輩・寮生活・教員
間の関り、臨床実習は、欠かすことのできない貴重
な機会であること、また「環境が人を育てる」こと
を強く実感する2年間となりました。



学院脇に初代学院長
横内寿八郎先生が寄贈
された梅園があります。
初春にはきれいな香花
を咲かせます。

記念梅園の石碑



ステロイド内服治療について

膠原病内科医長 鈴木 道太

今回はステロイド治療、その中でも**内服治療**に限定したお話です。

ステロイドとは、からだの中の作られる糖質コルチコイドという物質のことです。それを薬にしたのがプレドニゾロンやメドロールです。これらには、①腫脹・発赤・発熱・疼痛などの炎症を抑える抗炎症作用、②免疫を抑える免疫抑制作用があります。そのため、免疫が暴走して自身を攻撃する膠原病などの自己免疫疾患や、免疫が過剰に反応するアレルギー疾患などで効果を発揮します。

私たちは1日当たりプレドニゾロン2～5mg程度の生理的ステロイドを体内で作出し、日常生活をスムーズにしています。ところが、ステロイド治療ではその数倍～数十倍の量が投与されます。こうした過剰なステロイドは、後に紹介するような多彩な有害事象を引き起こします。そこで、ステロイドと上手に付き合っていくための2つのポイントをここで紹介していきます。

第一のポイントは、「医師の指示通りに内服し、自己中断をしない」ことです。ステロイドを急に休薬してしまうと、発熱・嘔吐・全身痛などの多彩な症状がでることがあります。これはステロイド離脱症候群と呼ばれ、体内のステロイド欠乏が原因です。重症になると入院となることもあります。

第二のポイントは、「ステロイドの有害事象のうち、予防できるものはしっかりと予防する」ことです。

残念ながら肥満や皮膚の斑状出血などの一部の有害事象はステロイドを減らさないと治りません。しかし、特に重要ないくつかの有害事象には対策がありますので、次に紹介していきます。

(i)感染症：ステロイドは免疫力を低下させるため、感染症にかかりやすくなります。感染症予防にはワクチンが有効で、コロナワクチンや季節性インフルエンザワクチン、そして65歳以上の方や肺疾患のある方では肺炎球菌ワクチンを接種することが推奨されています。

(ii)骨粗鬆症：ステロイド開始後数か月で骨折のリスクが急に高まります。骨密度が正常であったとしても、65歳以上、圧迫骨折の既往、長期ステロイド治療どれかに当てはまる場合は骨折リスクが高いので、ビタミンDやカルシウム摂取に加え、ビスホスホネート製剤という薬が推奨されています。この薬は抜歯すると副作用がでることがありますので、治療開始前に歯科受診をお願いしています。

(iii)動脈硬化症：ステロイド誘発性の糖尿病、高血圧、高脂血症を管理していくことは、動脈硬化症の進行、そして最終的には心筋梗塞や脳梗塞を予防する上で重要です。禁煙などの生活習慣改善も大切です。

(iv)白内障・緑内障：早期発見のために定期的な眼科受診が推奨されます。

最後に、ステロイドは一部の病気ではなくてはならない大切な薬です。有害事象を恐れるあまりにステロイドを避けることは、最も危険なことです。正しく理解して、上手に付き合いきましょう。



臨床検査技師のお仕事

臨床検査科 金子 愛梨

医師が病気を診断し治療をしていくためには、患者さんのからだの状態を知らなければなりません。からだの状態を詳しく知るためには病状に沿った「検査」が必要となります。その検査に対し、**臨床検査技師**という資格を持った人たちが担っている“臨床検査科”という部門があり、その仕事内容について少しお話しします。

臨床検査技師は「検査のスペシャリスト」

病院業務を支える様々な業務の中に『臨床検査』という職種があります。

臨床検査技師とは、患者さんの身体の機能や細胞・組織などに異常がないかを調べ(臨床検査)、その検査結果を医師に提供する医療技術者で、検査結果から病気を早期に発見し、医師に正しく伝えることによって、診断や治療をサポートしています。

臨床検査技師の仕事内容

臨床検査技師は、採取した検体(身体組織)を検査する「①検体検査」と、医療機器を使って患者さんの体を直接検査する「②生体検査(生理機能検査)」の2つに分類されています。

具体的には次のような業務が挙げられます。主な検査領域の例を挙げると…

①検体検査

- 生化学検査
腎臓や肝臓など、いろいろな臓器の機能に関する検査
- 血液検査
貧血や炎症の検査など
- 一般検査
尿検査、糞便検査、喀痰検査、髄液検査など
- 輸血検査
血液型や輸血剤の検査と製剤の管理など



- 病理検査
細胞の検査など
- 流行性の感染症検査
インフルエンザウイルスや、新型コロナウイルスなど
- 遺伝子検査 など…。

②生体検査(生理機能検査)

- 心電図検査
- 超音波検査
循環器、消化器、血管、乳腺、表在など
- 呼吸機能検査
- 脳波検査
- 神経機能検査
- 聴力検査 など…。



臨床検査技師の主な仕事は「検査」ですが、医療機関では採血業務にも携わり、患者さんと直接触れ合うことも多い職種です。



次回 各検査項目の内容についてお話ししたいと思います。

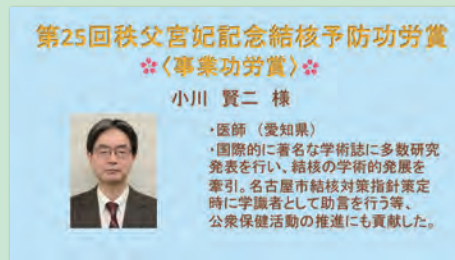
令和4年3月8日 当院前副院長の小川 賢二先生が 第25回秩父宮妃記念結核予防功労賞を 受賞されました



院長 奥田 聡

当院の前身は昭和43年に「八事療養所」と「梅森光風園」という二つの結核療養所が合併して設立された国立療養所です。戦後、結核は発症率・死亡率ともに減少はしましたが、現在もお終息せず、高齢の方を中心に新規発症が続いています。現在、東名古屋病院は名古屋市において、唯一の結核専門病棟を有する病院として結核診療の最後の砦となっています。小川先生は30年以上当院でその診療・研究の中心となって活躍されてきました。このたびその多大な功績が認められ、第25回秩父宮妃記念結核予防功労賞が授与されました。

おめでとうございます！



小川 賢二先生の御略歴

- 昭和58年4月 公立陶生病院勤務
- 昭和62年4月 名古屋大学第二内科勤務
- 平成元年4月 国立療養所東名古屋病院勤務(医員→医長)
- 平成16年4月～ 独立行政法人国立病院機構東名古屋病院勤務(臨床研究部長→副院長→医療顧問)

【学会活動・資格】

- 日本内科学会 指導医・認定医
- 日本呼吸器学会 指導医・専門医
- 日本アレルギー学会 指導医・専門医
- 日本結核・非結核性抗酸菌症学会 指導医・功労会員
- 第96回日本結核・非結核性抗酸菌症学会総会学術講演会会長

【受賞歴】

- 平成21年7月 日本医真菌学会 優秀論文賞
- 平成22年5月 日本結核病学会 今村賞
- 令和4年3月 秩父宮妃記念結核予防事業功労賞



外来案内

診療受付時間／午前8時30分～午前11時まで(緊急の場合はこの限りではありません)

診療開始時間／午前9時～

休診日／土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)

初診時の特別料金／他の医療機関等からの紹介ではなく、直接当院に来院された患者さまは、初診にかかる費用として、2,200円(税込)をいただいております。ご了承ください。
ただし、緊急その他やむを得ない事情により他の医療機関からの紹介によらず来院された場合にあってはこの限りではありません。

外来診察担当医表(令和4年4月1日現在)

再来診は全科予約制となります。

診療科	月	火	水	木	金
呼吸器内科	初診 岡田茉莉花	垂水 修	林 悠太	中川 拓	山田 憲隆
	垂水 修		佐野 将宏		林 悠太
	中川 拓	山田 憲隆	中川 拓/小川 賢二 (第1・3週) (第2・4・5週)	小川 賢二	
呼吸器感染症専門外来		小川 賢二 (第1・3週 13:30~15:30)			
循環器内科	廣瀬 未来		竹中 真規		
健康診断					武藤垂紀子
脳神経内科	初診 犬飼 晃	橋本 里奈/佐藤 実咲 (第1・3・5週) (第2・4週)	榊原 聡子/片山 泰司 (第1・3・5週) (第2・4週)	饗場 郁子	齋藤由扶子/横川 ゆき (第1・3週) (第2・4・5週)
	饗場 郁子	片山 泰司	犬飼 晃	齋藤由扶子	榊原 聡子
	横川 ゆき		佐藤 実咲	橋本 里奈	
		奥田 聡		奥田 聡	
消化器内科	横井 美咲	高橋 宏尚	高橋 宏尚/小林 慶子 (交替制)	小林 慶子	高橋 宏尚/小林 慶子 (交替制)
呼吸器外科			山田 勝雄		
外科・消化器外科	渡邊 正範 (第2・4週)※1	岩田 直樹	渡邊 正範 (第1・3・5週)※1	永田 博	渡邊 正範
乳腺外科	林 幸枝	遠藤登喜子			遠藤登喜子/森田 孝子
乳腺・内分泌外科				今井 常夫	
整形外科	金子真理子	堀江裕美子	小杉山裕巨	金子真理子	堀江裕美子
リウマチ科			小杉山裕巨		
脳神経外科					竹内 裕喜
泌尿器科	岡村 菊夫		青田 泰博		岡村 菊夫 (午前 通常診療・午前 女性外来※3)
精神科					亀位 翼
総合内科/膠原病内科	鈴木 道太	大島加帆里 (第1・3・5週 9:30~)	鈴木 道太		
血液・腫瘍内科(予約制)			清水 一之		神谷 悦功
内分泌内科					深見亜也子
小児科(予約制)	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子
皮膚科	加藤 愛	加藤 愛	加藤 愛		加藤 愛
歯科口腔外科	奥村 秀則	奥村 秀則	奥村 秀則	奥村 秀則	奥村 秀則
耳鼻いんこう科※2		伊藤 陽子	伊藤 陽子	伊藤 陽子	

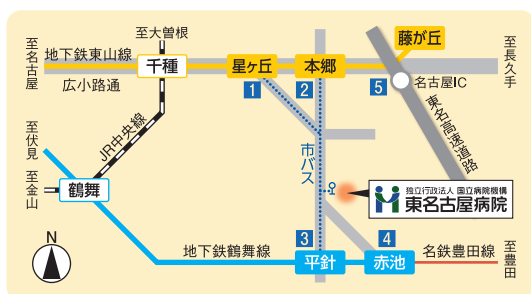
※1:月・水は、週によって診察日が異なりますので、お問合せください。 ※2:補聴器外来(予約制)／第1・3火曜、木曜 14:00~15:30

※3:女性泌尿器科外来／金曜(受付)12:00~13:30(診察)13:30~15:30

●時間外・休日の救急診療については、お電話にてご相談ください。(052-801-1151) ●セカンドオピニオン外来(予約制)を行っていますのでご利用ください。

●火・水・木曜午後に一般健診を行っています。(健診受付は14:00~15:00です。)

病院へのアクセス



1 地下鉄東山線 星ヶ丘駅からお越しの場合

- 市バス③番のりば 東名古屋病院行きまたは梅森荘行き約15~25分…東名古屋病院にて下車
- 星ヶ丘よりタクシーにて約15分

2 地下鉄東山線 本郷駅からお越しの場合

- 市バス①番のりば 地下鉄平針駅行き20~30分…東名古屋病院にて下車

3 地下鉄鶴舞線 平針駅からお越しの場合

- 市バス①番のりば 本郷行き約10分…東名古屋病院にて下車
- タクシーにて約8分

4 名鉄豊田線・地下鉄鶴舞線 赤池駅からお越しの場合

- タクシーにて約8分

5 東名高速道路 名古屋ICより車で約20分